

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	①	子どもの活動スペースは十分に確保されているか	○			・ 並行指導時にはスペースを区切って一人のスペースを確保。少人数指導時は狭さを感じる事もある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・ 常勤職員を4名配置している。
	③	事業所の設備はバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・ 片付けが一人で出来るように視覚支援を使っている。必要な場所に手すりや簡易スロープを用意し、今できる環境づくりをしている。
業務改善	④	業務改善を進めためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・ 月に一回以上職員会議を実施し、必要に応じ会議を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・ よりよい環境の為、改善可能な事については待合スペースの本の充実などに努めている。・ 情報を共有している。・ 保護者からアンケートを集めて毎年HPで公表している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	○			・ 毎年度HP上で公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・ 外部より助言を頂く機会は設けているが評価としての依頼はしていない。ボランティア等を受け入れ、第三者の視点を取り入れ、環境の改善に活用している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・ 研修案内は案内が届く度に回覧している。自発的に研修参加を申し入れている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・ アセスメントシートを独自で作成し、保護者の意見を聞いている。保護者から日頃の様子などを聞いている内容も反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・ 発達段階の身体の使い方、原始反射などから見たアセスメントシートを初回に使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・ 必要に応じて担当した指導員を中心に支援方法を会議している。共通で行う支援方法などは朝の朝礼で情報共有を行っている。集団活動時等は事前に活動内容を相談している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・ 子どもと毎回活動内容を相談して決めている為、固定化はしていない。子どもに合わせて行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・ その子の「今」に課題を設定している。・ 毎回の指導が固定化されていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・ その子の状況や気持ちをアセスメントしながら活動している。子ども個々のニーズや課題に合わせてスタッフで協議して行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・ 朝の朝礼で行っている。・ 朝礼が難しい時は管理者からスタッフ個々に言葉かけをして対応している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		・ 個々で行っている事もあるが、必ずとは言えない。実施出来ている時もあればそうでない時もある。

	17	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・ 次回の指導に向けてつなげている。記録係が指導の様子を毎回記録し、指導担当者がその指導のフィードバック内容を入力している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・ 半年に一回以上行っている。保護者にもモニタリング・アセスメントシートを記入して頂き、個別支援計画の見直しを定期的に行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・ 運動支援に特化しつつも、生活に関わる事など活動の中に含めながら取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・ 主に児発管が参加している。今後は児発管だけでなくスタッフにも参加してもらえるように情報共有を深めている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・ 不登校児や学校での様子の共有など、保護者の要望に応じて担当者会議の開催を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・ てんかん発作などがある子どもについては個別で緊急搬送先の経路確認などを行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・ 保護者からの要望に応じて、関係機関連携加算Ⅱの様式書類用いて作成し、情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか			○	・ 今現在、高校卒業段階の年齢の子どもがいないが、移行時に事業所としての書類を作成する意思はある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・ 堺市主催の研修に参加している。・研修時や担当相談支援員と情報の共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・ 今後の課題。近所の広場で近所の子どもたちを含めて活動を行う機会がある際は行うが、子どもの実態に合わせている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・ 参加出来ていない。さかい放課後連絡会に加盟し、積極的に交流を図っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・ 保護者とは日々の様子を含め共有する事に努めている。スタッフで情報共有し子どもと接している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・ 他団体主催のペアトレを紹介。個別相談で確認したり、助言を行っている。また研修等を必要とする保護者に情報提供も行っている。	
保護者への	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・ 契約面談時に行っている。・利用者負担等は別紙にて、変更がある度に詳細に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・ 個別での相談も受けている。児発管だけでなくスタッフ個々でも対応できるように知識や技術習得を心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・ ルピナス主催では行えていない。個別でその相談に応じ、個人情報に配慮して個々を繋げる事は行っている。

説明責任等	③③	子どもと保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・管理者が苦情対応窓口になって対応。個々の案件に対して、法人とも連携を取り、丁寧に対応させて頂いている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・フェイスブックで発信している。ラインアカウントかメールにて保護者が使いやすいツールを用いて連絡体制を取っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・以前の反省より、より注意して個人情報に注意して対応している。・鍵付きの書庫で保管している。
非常時等の対応	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・視覚的に示す、わかりやすく言語化する。日々、指導員のスキルアップに努めている。ルビ付きで対応している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・事業所とはしては行えていないが、法人本部では開催されている。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○	・職員にはマニュアルを周知出来ていて、事務室内に掲示している。保護者にまでは周知出来ていない。
	③⑨	非常災害の発生時に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回の予定で実施。新設された建物なども考慮して、変更が必要な場合は内容を更新している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・研修には毎年管理者が参加。職員に伝達している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・保護者が見学している為、現場で了解を得る事になっているが、再度個別支援計画への記載を検討している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				○
	④⑬	ヒアリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	○			・共有している。年度終わりに年度の事例集を作成し、危機管理の再検討を行っている。